

家畜衛生だより 平成28年5月

紀北家畜保健衛生所

tel 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

tel 0739-47-0974

紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

tel 0735-58-1481

【ナルトサワギクに注意しましょう！！】

ナルトサワギクは、アフリカ原産の外来種で、繁殖力が強く、その分布は紀南地方まで拡大しています。ナルトサワギクは家畜に対し毒性があるため、放牧飼養、野草給与している場合は十分に注意が必要です。他にも家畜に毒性を示す有毒植物は多数あります。その一例を以下に示しておりますので、併せて確認しましょう！



ナルトサワギク：花



ナルトサワギク：実（タンポポに類似）

特徴：1円玉大の黄色の花で、1年中、開花、結実します（繁殖力が旺盛です）。アルカロイド系の毒性を持ち、摂取した牛に嘔吐、下痢、肝障害等を引き起こし、オーストラリアでは中毒による死亡例が多数報告されています。高速道路脇や河川敷によく繁茂しているのが確認でき、また一部畜舎周辺でも散見されているので、給与しないよう十分に注意しましょう。万が一、見つけた場合は根を残さないように引き抜き、枯死させましょう。



キョウチクトウ

特徴：毒性が極めて強く、摂取すると、痙痛、下痢等を引き起こし、本県においても、中毒の発生が認められているので、特に注意が必要です。



ワラビ (葉)

特徴：シダ植物で摂取すると、血尿、血液凝固不全、急性の場合は骨髄障害等が引き起こされます。



シキミ

特徴：人での中毒例も報告されており、毒性が強く、摂取すると、起立不能、痙攣等の症状が引き起こされます。



ヨウシュヤマゴボウ

特徴：摂取すると流産、嘔吐、下痢等の症状が引き起こされます。

今回、紹介した有毒植物はごく一部ですが、より詳しくは、「[農研機構 HP 写真で見る家畜の有毒植物と中毒](#)」をご覧ください。ただか、最寄りの家畜保健衛生所までご連絡ください。